

瑞雲

第 4 号

1968・3

直方鉄工青年会



転換期の課題

われわれの企業は現在転換期を迎えている。このことについては誰も異論はないと思うが、転換期に於ける大事な問題はなにか……考えてみる必要があると思う。

昨今、近代化とか協業化とか色々な課題が強調されているが、転換期に一番考えねばならぬ課題は選択ではなからうか。何を選ぶか、未来の目標がはっきり確定して、はじめてそのための方法的課題が生れてくるであろう。したがってそのような選択がなされていないのに、いくら方法的課題を云々してみたところでナンセンスだと思う。

ところで、それなら具体的にわれわれは何を選ぶべきなのだろうか。我々にとって一番必要な選択の課題は、企業化するか、生業化するかの二者択一の問題だと思う。

今から5年、10年先の未来に我々の企業が生き残る道は2つしかあるまい。企業化するか、生業化に徹するか……そのどちらを選ぶかは自由である。しかしそのどちらでもない中途半端な生業的企業のままで生きのこる余地はもはや残っていないのではないだろうか。もしわれわれが生業化への道を選ぶというのであれば、工場の近代的労務管理とか、近代的経営感覚をいくら身につけてもあまりためになるまい。生業の目的は、生きるということであり、家族が生きてゆくための生活資料が得られれば充分だからだ。したがって利潤が問題になっても、それはせいぜい給与所得者よりぜいたくな生活が出来る程度のものでよいわけだ。

これから10年後に生業者が給与所得者よりよい生活が出来るといえることが考えら

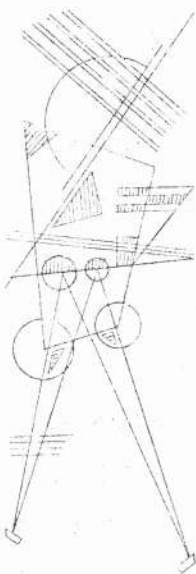
(2)

れるであろうか。(特殊な技術の持主は別だが)企業としての形態は拡大生産である。拡大生産である以上当然利潤は自己消費のためのものとどまっていたはなるまい。それは蓄積され再投資されてこそ初めて企業家としての価値がある。生業に徹するということは、企業家としての未来の栄光を捨てるということだ。

企業化しようとするれば、そこには果てることなき拡大生産の軌道の上をひたすら走らなければならない。これも相当な危険があるに違いない。しかしそのどちらかの道を選ばねばならぬ転換期である。中途半端な生業的企业では消滅の道を進むより仕方があるまい。今からわれわれ青年会員が考えねばならぬものは、この選択の問題であろう。どちらつかずのへつぱり腰で経営を今後も続けるとすれば、現在の状態から直方鉄工界の様相を変えることは出来ぬと思うがどうだろうか。

われわれは企業化として生きるための鉄工青年会員でありたい。そのために如何なる困難にも堪え抜き、それを乗り越えて先に進む勇気をもとう。

(D. I 生)



歴代理事長訪問④



第17・18代理事長

西尾善恵氏

昭和34年、丁度燃料革命の深刻なきざしが見え始めたころの重大な時期に、知性と理論派で名だたる西尾理事長の登場となる。困難な問題が山積していただけに、組合の結束は固く、「直方鉄工界の団結の強さを世間に認めてもらえたのは忘れられない思い出」と当時をしのばれて色々な苦勞話をしていただく。

「一般産業の転換には集団化し、お互いに協業体制をしいていかねばこのままでは駄目だと自主的な動きが見られたので、この問題と真先にとりくみ、市の商工課と共に適当なる場所を物色し、中泉団地、明神団地を国の助成により作りあげること、その具体案を国会に提出、その案が認められて、産炭地域振興臨時措置法による産炭地域振興事業団の第1号として中泉団地を造成することが出来ました」

国及び県に先べんをつけ、組合あげての努力が次に受注先への開拓と展開し、北九州経済連合会（西日本工業クラブ）と連繫を結び、大手企業よりの受注拡大

に、又国鉄車輛関係の受注のため国鉄西部支社を通じて国鉄本社を動かし、貨車部品の受注に成功。「お互に努力をしましたが、市役所の政治的バックアップが大きな支えになり、業界をうるおす様な受注は出来なかつたが、しかし転換への足がかりをつけたことは大きな意義があったと思います。」といわれる。

現在の活況をもたらしたのは業者の努力もさることながら、当時の積極的な市と組合のチームワークの良さは今後も持ち続け、地域業界の発展に努力せねばなるまい。

組合内でも活発な事業活動を推進され、技術の向上が拡換を早くすることが出来るとして、工員の技術を高めるため青少年工の教育を組合の2階で、製図、電気、機械の講義が行われたことは特筆すべきであろう。

又事務所の移転問題も当時よりとりあげられ、「鉄工界にふさわしい建物を作ろう」と意見が一致し、理事会の承認を受

けたが、8年後の今日それが実現できて非常に嬉しく思う」と感慨深げの様子であった。

最後に組合が、よりよい方向に向う為にはどうあるべきかと質問する。

「時代の進展が早いので、新しい感覚を取り入れるためには組合役員の若が必要と思います。そして今迄の単一組合から、連合会組織にもって行くべきでしょう。そのために同一業種の部会が結束を固め、部会が組合の活動の原動力となる様にすべきではないでしょうか。同一業種であれば企画したことがスムーズに実行しやすいし、アウトサイダーも吸収しやすい。そうすることが業界全体の発展につながると思います。」

青年会に対しては

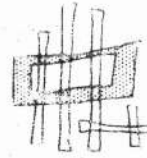
「直方鉄工界の革新分子であるということを目覚めてもらいたい。青年会は第一線で工場を運営している若い者同志が、お互に意志の疎通を図り、親父と息子が意見を交換しながら工場発展に寄与しようとのことで出来たと思っております。それ故青年会は新しい感覚に於て行動し、ファイトがあつてほしい。そして組合との意見の交換会を定期的にもち、お互に

正しく物事を理解しながら実現への足がかりをつかんで活動してほしい。」と青年会への期待をぶちまけられた。

西尾さんは業界を愛し、地域社会の発展を誰よりも願われる人である。われわれも一世遑に頼もしく思われる知性を持ち、活動しなければなるまい。



私のマスタープラン



〔訪問先〕 有限会社 大 島 鉄 工 所

社 長 大 島 誠 三 氏

36才の若社長陣頭指揮のもとに、全工場が熱気を帯びている様だ。忙しい社長をつかまえて1時間程時間をさいてもらおう。

開口一番、「昨日東京から帰ってきたが、我々の企業形態はこのままではいかん。このままでは取り残されてしまうのではないかと心配だ。」と日立の亀有工場の下請群をみてきた直後だけに、直方鉄工界のありかたについて手きびしい。

亀有の下請群は、親工場日立の指導のもとに結束し、お互の工場が連繫を保ちながら効率の良い作業をしているので、非常に安く出来、仕事の能率も高いそうだ。そのため会社の利益も充分確保出来て、各工場の規模が直方のトップクラスの工場に匹敵するところばかりらしい。すぐれた労務管理で、従業員の定着性もよく、お互に引抜きあうというようなことが少ないと言われる。

「私は日立の下請のように、私の仲のよい経営者とがっちり手を組んで、専門専門の特徴を活かし、製罐工場だから製罐だけしか受注しないという経営から脱皮して、総合した仕事を重点的に伸ばし

て行く。そして高能率の仕事が出来るように、工場内に仕切をして、ケヤキ、切断、仮組、組立と分業化して充実した仕事によりコスト低減を図り、従業員には高賃金を払って永続的拡大をしていく。」といわれる。

又取引先の日立、黒崎窯業、黒崎築炉の本社が東京にあるので「本社発注のプラントを狙うため、今年中に東京事務所を設置する」と意欲的な経営態度だ。

現在50名の従業員で、売上は年間6000万円(材料支給80%)と非常に生産性が高い。5年後には年間1億2,000万円にする予定。但し合理化を推進して従業員はあまりふやさない、高賃金、高能率の手がたいマスタープランだ。

この度工場隣接の300坪の土地も購入され、新鋭組立工場を作る予定と夢一杯の希望をもって経営にあたっている。

昭和40年8月に前社長が亡くなられてからの苦勞話を聞いたが、その苦勞を堪え抜いた人だけに、一段と遅ましさを感じられた。

会 員 瞬 評

○御国の為ならマツサキカケタ陸軍曹長

人の為なら体を張って

降等くらった上等兵殿

歲月過ぎて20余年

今じゃ工場の静かな大将

Mr. ISHIMOTO

○「やりましょう」その一言が苦勞の種

そこがコチラの惚たいところ

苦節20年、美事に開花

赤地にどかっと根を張ったいい工場

Mr. YOSIDA

○沈黙は金なり

正に名言

「もの言えば金をスルよな心地する」

Mr. MATUI

○「営業マンなら理屈は云わぬ」

そいつはヨソの事ですよ

話の筋は通します

商売も頂きます

親の代からこのタイプ

なんで私がやめらりようか

Mr. MINAMI

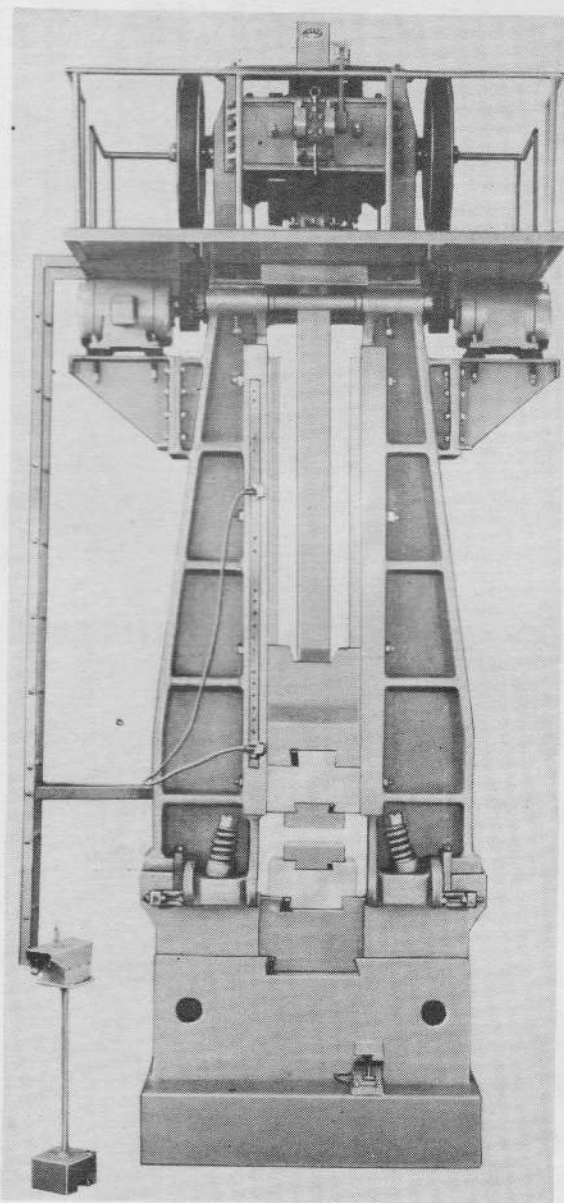
お め で た



若さ一杯で頭張り屋の高野浦君が、3月10日に結婚式を挙げました。本当におめでとう。花嫁さんは飯塚の人だそりです。こんどの例会のときは一段とスマートになっていることと思います。乞う御期待。

新 鋭 設 備 紹 介

株式会社 小野原鉄工所



昨年秋、小物の量産化に、1.5 吨型打専用ボードハンマーを大阪より購入、耕耘機部品、ベルトコンベヤー部品を製作、この機械設置により売上30%アップ、目下フル稼働している。又大型鍛造のネックであった灼熱鉄塊の操作にトヨタ製マニプレーター（2.5 吨、回転フォーク付鍛造専用リフト）を購入。一挙に4人の作業員の節減となり、人手不足の解消につとめられている。

（設備価格）

ボードハンマー（据付費共）

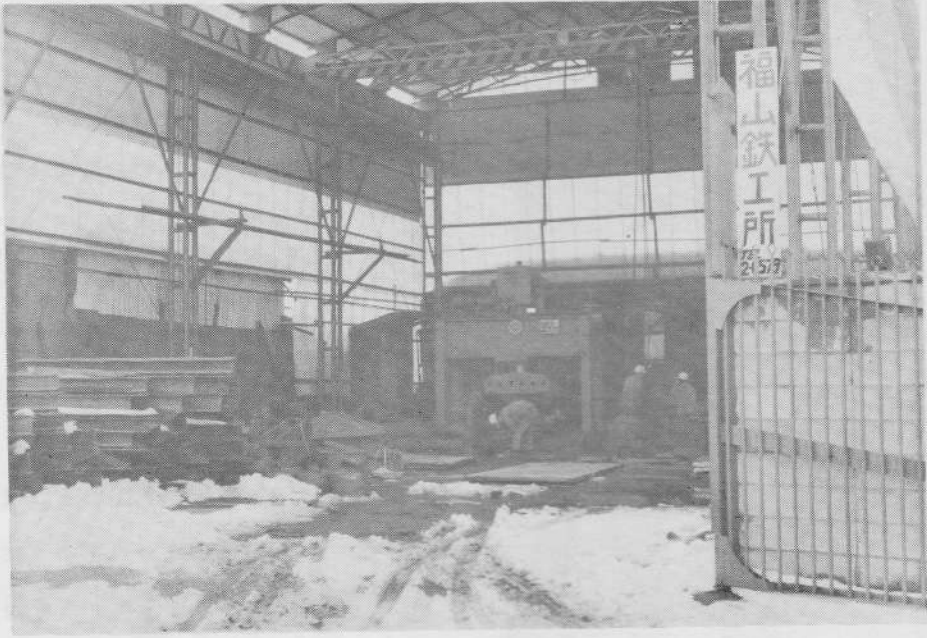
1,000万円

マニプレーターソフト

250万円

（1.5 吨 ボードハンマー）

福 山 鉄 工 所



(3 5 0 吨プレス稼動中の新工場、プレスは村井工業製)

昨年10月新工場を完成、350吨プレスを設置し、大型製缶物迄手軽に製作出来る体制を整えられた。これにより従来より50%~60%生産を上げている。

目下大型物5立方メートルクラブバケット等、簡単に製作され受注消化に懸命。

なお長男の盛樹君と共に次男和義君、三男繁男君のチームワークの良さが製品に反映し、その技術は高く評価されている。



あ と が き

- 梅もふくらみ、うららかな春になりました。
 軽い服装も気持ちのよいものですが、不況に向かう折、くれぐれもふところ具合の軽さには気をつけましょう。
- 引続き例会の出席率は100%。みんなの関心の深さもわかります。会長のまとめのよいのもわかります。
- 海外に大きく目を開きましょう……2月例会ゲストは山口さん。
 会長になれば一度は海外旅行をさせること、いかがですか……
- 表題「瑞雲」とは、暗雲漂う雲の合間より陽光さし込む様をいり。

瑞 雲 第 4 号

昭和43年3月20日発行

(発行所) 福岡県直方市殿町5の1
 直方鉄工青年会
 電話 直方②3241番

(編集) 飯野 大 三 郎
 伊藤 清 治

直方市古町8の22
 (印刷所) 高島プリント社
 電話 直方②1290番